

鍾乳洞に生息する昆虫類

ヒゲナガカミキリ



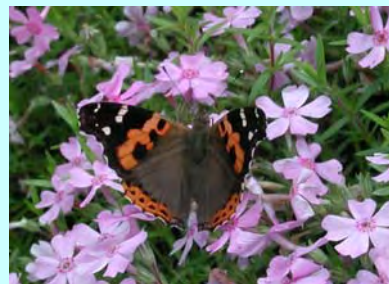
6月～9月にかけて見られ、広葉樹林の倒木や朽木などに見られる。メスは倒木や朽木などに卵を産みつけ、孵化した幼虫はそれを食べて育つ。屋間、公園内の木の枝などにとまっていることがあります。

ミヤマクワガタ



6月～9月にかけて見られ、大型でポピュラーな種類で、標高の高い場所に生息する事から、深い山（深山＝みやま）がその和名として付けられ、大脚（アゴ）は大きいのですがはさむ力は意外と弱いです。

アカタテハ



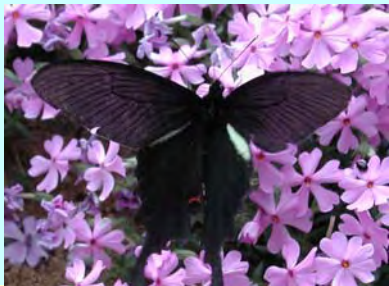
春から秋にかけて見られ、前翅長は3.5cmほどの中型のチョウで、表側に鮮やかな橙色の帯模様があり、先端は黒く、白の斑点が点在します。後翅の表にも橙色の縁取りがあるが、他はくすんだ褐色をしています。



凡例

- 管理用道路
- 遊歩道（一般遊歩道）
- 遊歩道（車椅子対応）
- 遊歩道（既設遊歩道）
- 四阿

オナガアゲハ



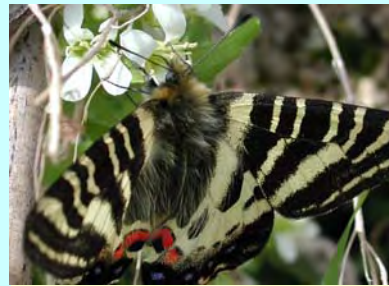
春から秋まで見られ、翅の裏表とも黒い色をしています。オスには後翅前縁に明瞭な黄白斑があります。クロアゲハに似ていますが翅形が細長く、尾状突起が長い点で区別されます。

ミヤマカラスアゲハ



5月～8月頃まで見られます。青緑色に輝く、美しいアゲハチョウ。カラスアゲハに似るが、より色彩が鮮やかで美しく、前翅の表面に白っぽく輝く線が入っていること、後翅の裏面に白い帯があることで見分けられます。

エシメギフチョウ



4月下旬～5月頃まで見られ、成虫は春先への短い期間のみ姿を見せる、黄色と黒のだんだら模様の美しいチョウです。毎年、公園内に春を訪れを告げる風物詩となっています。